

令和2年度 全国社会就労センター総合研究大会 (北海道大会) 開催要綱

テーマ

地域・利用者とともに創る共生社会
～人生100年時代の社会就労センターのあり方～

趣旨

団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年にむけて、少子高齢化、人口減少などの社会構造の変化、地域社会の変容など社会就労センターを取り巻く環境は大きな変化を迎えます。これからの人生100年時代においては、一人ひとりが個性と多様性を尊重され、家庭、地域、職場で能力を発揮し、生きがいを感じることができる社会の実現がめざされています。また、気候変動や災害、格差や貧困など地球規模の課題に対して、国連の提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」への取り組みを通じ、社会全体に大きな変革・対応が求められています。

障害者の「働く・くらす」を支える社会就労センターは、いち早く社会変化を捉え、経営の持続性を実現するために職員・利用者の働き方・暮らし方を見直すとともに、地域・利用者とともに地域の課題にも取り組み、共生社会を創る役割も期待されています。

今年度の総合研究大会は、時代や社会の変容を視野に入れ、これからの社会就労センターのあり方を考えることを目的に開催します。

日時

◆令和2年7月16日(木)、17日(金)

会場

◆札幌プリンスホテル 国際館パミール

(国際館パミール：〒060-8615 北海道札幌市中央区南3条西12丁目)

(宿泊棟：〒060-8615 北海道札幌市中央区南2条西11丁目 TEL：011-241-1111)

※ 国際館パミールは、宿泊棟の通りを隔てた向かいです。

参加費

◆会員：1名につき15,000円 ◆非会員：1名につき38,000円

※ 行政職員・社協役員、都道府県セルフ協・セルフセンター事務局、利用者本人およびご家族の方は会員扱いとします。

※ 参加申込と同時に新規加入された場合、会員扱いとします。

※ 永年勤続表彰を受けられる方で、表彰式のみ参加の場合、参加費は不要です。

主催

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会就労センター協議会

[共催] 認定特定非営利活動法人 日本セルフセンター

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会、北海道社会就労センター協議会

後援(予定)

厚生労働省、北海道、札幌市、社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会、
公益財団法人 日本知的障害者福祉協会



■ 1日目：7月16日（木）

9:45～	受付	
10:30～ 11:30	開会式 表彰式	<p>主催者挨拶 永年勤続表彰式</p> <p>社会就労センター等に20年以上勤務している職員の方で、所属法人の理事長より推薦された方を表彰します。</p>
11:30～ 12:30	行政説明	<p>「障害者就労支援施策の動向」(仮題) 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課</p>
13:20～ 14:10	基調報告	<p>「障害者就労支援の現状・課題とセルフ協の対応」 全国社会就労センター協議会 会長</p>
14:30～ 16:30	分科会 I	<p>事業種別部会等 (企画運営：各担当事業部会幹事会等)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 生保・社会事業部会 ② 雇用事業部会 ③ 就労継続支援事業部会 ④ 就労移行支援事業部会 ⑤ 生産活動・生活介護事業部会 ⑥ くらす (グループホーム) 検討会 </div> <p>グループ討議等を行う分科会です。詳細はセルフ通信速報を通じてご案内いたします。<u>申込時に参加する分科会を確定し、お知らせください。</u></p>
16:50～ 18:00	分科会 II	<p>課題別に実施する分科会 (企画運営：調査・研究・研修委員会)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ① 障害当事者から学ぶ ～事業所にアウトプットしよう～ ② 地域特性を活かした施設外就労のカタチ ～働く場は施設内だけじゃない 障害者の就労～ ③ 多角的経営視点～福祉施設による事業承継の実践～ ④ 人材定着の一つのヒント～笑いヨガ体験講座～ ⑤ 地域における事業所の役割 ～地域から求められる施設をめざして～ ⑥ 進化する組織・チームを作るには ～若手・中堅職員による「福祉はつらいよ」座談会～ ※分科会II-⑥(セルフ士会企画)は、<u>若手・中堅職員を対象とする分科会です。</u> </div> <p>実践報告等を行う分科会です。会場の出入りは自由ですが、<u>会場設営のため、参加予定の分科会を申込時にお知らせください。</u></p>
18:30～ 20:00	情報交換会	(希望者のみ)

希望分科会を
選択

希望分科会を
選択

■ 2日目：7月17日（金）

9:00～ 10:10	講 義	「SDGsと地域共生社会の取り組み」 一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク 理事・事務局長 新田 英理子 氏 2015年9月の国連総会で、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」（通称：持続可能な開発目標（SDGs））が採択され、「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現に向けて取り組みが進められています。SDGsが採択された背景やSDGsの理念・目標・ターゲットなどについて解説いただき、障害者、地域とともに地域共生社会の実現に取り組む社会就労センターが、SDGsを身近なこととしてとらえ、共生社会の実現に向けた取り組みのヒントを学びます。
10:25～ 11:55	特別講演	「地域で生きる、小さな取り組みから大きな成功へ」 十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾 氏 地方路線バス会社として、全国で初めてお客さまの減少をストップさせ、増収増益をかなえた十勝バス。お客さまの自宅を一軒一軒直接訪問、路線バスを利用して観光地をまわるバスパック商品の開発など、それまでの地方路線バス会社の常識を打ち破る施策を多数実施し、お客さまの不安を解消することに努めた結果、増収増益を実現しました。 見事な復活劇の裏にあったお客さま満足度を高めるための地道な取り組みについて学びます。
11:55～ 12:10	閉 会 式	次年度開催県挨拶 閉会挨拶

【特別講演・講師略歴】



のむら ぶんご 氏
野村 文吾 氏

- 1963年北海道帯広市生まれ。小樽商科大学卒業。
十勝バス株式会社 代表取締役社長
昭和63年国土計画株式会社（現西武ホールディングス）入社その後平成10年十勝バス入社。平成15年5月より現職。
1926年創業以来「生活の安心を届ける」を企業理念に十勝管内の市民の足として路線バスを核に都市間、定期観光バス事業を展開。その他介護、学童保育、生活支援サービスなど地域密着の事業を手掛ける。
70年代以降の経営悪化により「不安解消」と「目的提案」に取り組み積極的な商品開発で2000年代に業績をV字回復。利用者減少をストップさせ増収増益を成し遂げた全国初の地方路線バス会社として新聞やテレビに取り上げられ大きな話題となる。現在、顧客のさらなる利便性向上のため公共交通ネットワーク“MaaS”事業に全力で取り組む。
帯広市商工会議所筆頭副会頭、北海道バス協会理事、十勝地区バス協会会長、シーニックバイウエイトカプチ雄大空間代表等公職多数。

対 象

- ◆社会就労センター(就労支援事業所、障害者支援施設等)の役職員 ※若手・中堅職員もご参加いただけます。
- ◆都道府県・指定都市、市区町村の行政職員および社会福祉協議会役職員
- ◆社会就労センターを利用する本人およびご家族等

定 員

- ◆500名(定員になり次第締め切らせていただきます)

参加申込等

【参加申込】

- ◆参加申込希望者は、**6月16日(火)までに**「大会参加のご案内」をご参照のうえお申し込みください(FAXによる申込/WEBによる申込が可能です)。

<http://www.mwt-mice.com/events/selp2020>

※車いす利用や、手話通訳・要約筆記等のご希望等、大会参加にあたって配慮が必要なことがございましたら、申込書の確認欄・通信欄にてお早めにお知らせください。

※会場設定の関係上、申込書に分科会Ⅰ、Ⅱのご希望を記入してください。

※参加、宿泊等のお申込み受付は「名鉄観光サービス(株)北海道営業本部」が行います。

【参加費のお支払い】

- ◆6月下旬に請求書と参加券を郵送いたします。請求書に記載している期日までに参加費のお支払いをお願いいたします。

※お振込み時の控えをもって領収書に代えさせていただきます。別途参加費の領収書が必要な場合は、申込書の通信欄に希望する旨をご記載ください。

【参加の変更・取消】

- ◆参加の変更や取り消しは、お送りいただいた申込書に訂正内容を記載のうえ、EメールまたはFAXで「名鉄観光サービス(株)北海道営業本部」にご連絡ください。

※WEB申込の方はお申込みサイトからお手続きください。

※請求書発送後の参加の取り消しについては、参加費の返金はせず、大会終了後に資料一式の送付をもって代えさせていただきますので、予めご了承ください。

個人情報の取扱い

- (1)「申込書」にご記入いただいた個人情報は、申込受付等委託業者(名鉄観光サービス(株)北海道営業本部)とセルプ協事務局で利用させていただきます。なお、参加申込受付、参加管理、参加にあたり希望される宿泊等のサービス提供など、大会運営に必要な範囲内で使用いたします。
- (2)参加者の交流に資するため、「申込書」をもとに参加者名簿(都道府県名、参加者氏名、施設・事業所名、事業種別、役職名等)を作成し、当日参加者に配布するとともに、参加案内・取りまとめ等のために各都道府県セルプ協事務局にも提供いたします。

お問い合わせ先(営業時間 平日9:30~17:00)

参加申込に関すること

名鉄観光サービス株式会社 北海道営業本部
(担当:中川、田中、松山)
TEL:011-205-5222 FAX:011-205-5220
E-mail: selp-h2020@mwt.co.jp

研修会プログラムに関すること

全国社会就労センター協議会(セルプ協)
全国社会福祉協議会 高年・障害福祉部
事務局(担当:寺西、井野、安藤)
TEL:03-3581-6502 FAX:03-3581-2428
E-mail: selp@shakyo.or.jp